

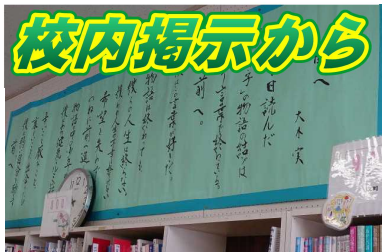


大仙市教育アドバイザー訪問

7日、大仙市教育アドバイザーの□□□□先生（前大曲中学校校長）に、2校時目の授業をご観いただきました。初めに参観したのは、2年生の英語でした。授業の冒頭部分でしたが、ドラえもんやアンパンマンなどのキャラクターを取り上げて、英語で表現し合うペア学習を行っていました。1分間の制限時間で、工夫を凝らしながら積極的に発表し合いました。次に行った1年生は数学でした。四則の混じった正負の数の計算方法について、課題の確認後に友達と意見交流する様子を見ました。自分の考えを相手に納得してもらおうと、熱心に説明している姿が印象的でした。最後は、3年生の理科でした。学習課題の「電池の中でどのような化学変化が起きているのか？」を解決するために、イオンや電子のモデルを用いて操作したり、タブレットを活用してデジタル教科書で確認したりしながら学んでいました。□□教育アドバイザーからは、「教師の表情のよさが、生徒の明るさを導き出している。生徒は安心感に包まれて学んでいる。」という感想をいただきました。2校時目は、全ての学級で黒板と共に大型ディスプレイを活用していました。また、数学は2名の数学教諭に加え、教育専門監も参加しての3人体制でした。このような本校の恵まれた教育環境を生かしながら、今回ご指導いただいた改善点にも全職員で取り組むことで、引き続き「主体的、対話的で、深い学び」に向けた授業改善を進めてまいります。

校内掲示から

→ 大木実の詩



校内を見渡せば、様々な掲示物に気が付きます。図書室には、数年前に書かれたであろう、大木実の「前へ」の詩もあります。大木実は幼くして家族と死別するなどの苦労を経験した詩人です。「前へ」は、私たちに勇気を与えてくれます。一方、廊下には、各学年の道徳の取組を紹介する「道徳コーナー」が設けられています。学年を超えて道徳心が育まれます。

→ 新設した道徳コーナー



前へ
少年の日読んだ
「家なき子」の物語の結びは、
こういう言葉で終わっている。
前へ。
僕はこの言葉が好きだ。
物語は終わっても、
僕らの人生は終わらない。
僕らの人生の不幸は終りが無い。
希望を失わず、
つねに前へ進んでいく、
物語のなかの少年ルミよ。
僕はあの健気なルミが好きだ。
辛いこと、厭なこと、
寂しいことに、出会うたび、
僕は弱い自分を励ます。
前へ。